

# ふかし

深志神社社報 第11号 平成22年冬号

深志神社は松本城下  
 深志町の北西  
 氏子守り地です



皇大神宮と深志神社の御神札(家内安全)



社頭の参拝様子



授与所の様子



団体・会社のご祈禱



絵馬を掛ける

**ふかし** 深志神社社報 第11号  
 発行日 平成22年11月25日  
 発行所 深志神社社務所  
 〒390-0815  
 松本市深志3丁目7番43号  
 電話 0263-32-1214  
 FAX 0263-32-5908  
 http://www.fukashi-tenjin.or.jp  
 印刷 (株)日本広告 (4,000部)

◆**神宮大麻** (おひた) 年神様・お伊勢様  
 天照大神様をお祭りされる伊勢の皇大神宮の御神札で日本の総守り神様

◆**深志神社大麻** (おひた)  
 深志神社の御神札で松本南深志48ヶ町の守り神様

御神札は頒布始祭を厳修して、各町会氏子総代を通じて皆様のご家庭へ頒布致しております。また、授与所ですぐでもお受け戴けます。なお、簡易神棚もお頒布しています。

◆**お正月のご案内**

◆**祭典のご案内**  
 大晦日 午後11時30分より除夜祭  
 正月 午前0時より歳旦祭

◆**二年参り、初詣のご案内**  
 大晦日から元旦にかけてお参りする「二年参り」。一年の感謝と新たな年を迎えるお気持ちで、午前0時に鳴りわたる大太鼓の響きとともに迎えてください。

◆**新年祈願祭のご案内**  
 元旦より新年諸祈願祭を、奉仕いたします。(団体の祈願 商売繁昌 交通安全・作業安全・社内安全等(家庭・個人の祈願) 家内安全・厄除祈願 身体健康・合格祈願等 特に受験合格祈願は御祭神の天神様、菅原道真公の御神徳があらたかです。なお、団体での祈願は予約いただいておりますので社務所までお問い合わせください。

◆**新年授与品のご案内**  
 御神札(伊勢神宮・深志神社・家内安全他)、御守(肌守・交通安全守・合格守・勝守・金運招福守他)、新春縁起物(熊手・破魔矢・福俵・ダルマ他)やおみくじ(神教みくじ・三角みくじ・花みくじ・恋みくじ・男・女みくじ)等を授与致します。なお縁起物は大晦日午後10時より授与します。

また大晦日午後11時より境内にて篝火を焚き、古御神札等をお焚きあげします。年内に受けられた御守や御神札、縁起物等を感謝の気持ちで込めてお納めください。

◆**梅風閣のご案内**  
 当神社併設の梅風閣にて忘年会・新年会を承っております。会社の皆様や御家族とは非ご利用ください。お問い合わせは0120-1122829

◆**平成23年厄年表(数え年)**

	男性	女性
前厄	昭和63年生	平成6年生
本厄	昭和62年生	平成5年生
後厄	昭和61年生	平成4年生

【還暦】昭和26年生(男女とも)

新年を迎えるにあたり  
 深志の大神様の御神徳を仰ぎ  
 皆様の家運隆昌と家内安全と  
 お祈り申し上げます

新しい御神札をお迎えして、心安らぐ日々を暮しを



清水上空から神社方面を、北東から南西に望む  
 神社は画面中央少し上。右下から流れるのは女鳥羽川。手前に清水小・中学校。



鎌田上空から神社方面を南西から北東(丑寅)に望む  
 神社は画面中央から少し右斜め上。△は鎌田天満宮旧趾。手前左に鎌田小・中学校。右上隅から薄川、右中程から田川。

# 航空写真で見える氏子地域

本年七月、氏子地域の航空写真を撮影しました。氏子地域は女鳥羽川以南、薄川以北の内、48ヶ町です。

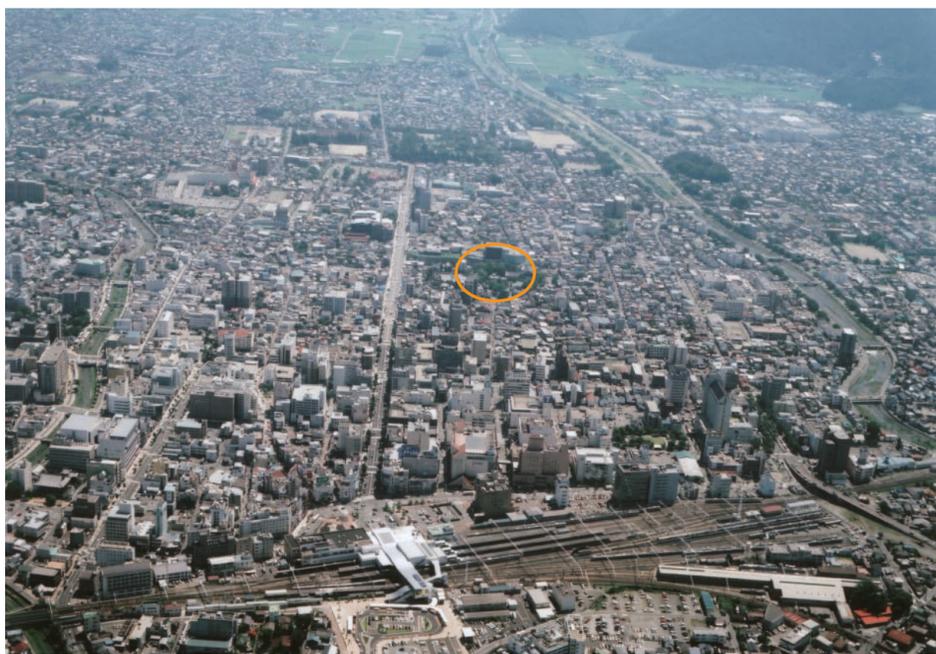


神社上空から望む 上が東、下が西

神社への東西正面通りが天神通り  
神社東(上)に隣接して市民芸術館、県の森通りの向かい、少し東に市民芸術館。

(表紙写真) 薄川上空から松本城方面を、南から北に望む。手前は薄川。中央南北に本町通り。

右端に薄川、左端に女鳥羽川。手前に松本駅。神社は画面ほぼ中央。画面中央の通りは駅前からの県の森通り  
巾上上空から神社方面を、西から東に望む



## 氏子総代の方々が改選されました

氏子総代の任期(4ヶ年満了)に伴い、新たに各町内より推薦された56名の方々に、宮司より委嘱申しあげました。総代の皆様方には改めて、神社と氏子の方々の「仲とりもち」として祭儀・行事等へのご尽力をお願い申しあげます。また総代会新役員も、7月5日開催の定例総会で改選されました。金井利曉前総代会(長栄町)は、総代として20余年の長きにわたり、また会長として3期6年お務めいただき、その間、御正念一、〇〇年大祭やご社頭興隆にご尽力いただきました。今後は名誉



氏子総代就任奉告祭後に  
武居副会長 中村会長 岸副会長

昨年発行の社報第8号に掲載したように平成21年は当社天満宮が鎌田の地から祀られて百年という記念の年でした。同年4月25日に百年祭を斎行し、そして本年3月11日、12日には北野天満宮と琵琶湖の旅へ御本社を訪ねてとして、深志神社と鎌田町会合同の研修旅行を約20名の参加者で実施しました。初日には、北野天満宮、白吉大社への正式参拝後、ホテルへ懇親会ではNHK地元放送局の生放送の取材があり、緊張しながらのインタビュー等、よい思い出となりました。二日目は石清水八幡宮、伏見稲荷大社、明治天皇伏見御



北野天満宮にて

陵を参拝後、帰松少々ハードスケジュールでしたが、御本社にお参りし、咲き誇る梅の花の香りに包まれながら天神様の御縁と御神徳の深さから人々の信仰の基になっていることを、改めて感じました。なお平成26年には、天満宮を鎌田から御勧誘して四百年という佳節を迎えます。現在、記念事業行事等を委員会にて企画検討してまいります。その内容は改めてご報告します。



植樹される山田氏子総代

## 深志神社 氏子総代

平成22年7月現在 (敬称略) △印 新任

氏子総代会役員	第1班(年番 平成22年度)	第2班(年番 平成23年度)	第3班(年番 平成24年度)	第4班(年番 平成25年度)
会長 中村 欽哉	本町1丁目 池田六之助	宮村町1丁目 武田信一郎	中町1丁目 飯森福太郎	△飯田町1丁目 藤森 三平
副会長 岸 利行	本町2丁目 長崎 俊夫	◎宮村町1丁目 伴 吉宏	中町2丁目 中町1丁目 鹿川 一夫	飯田町2丁目 谷川 清
副会長 武居喜美雄	本町3丁目 太田 隆治	◎宮村町2丁目 宮村町2丁目 中澤 明	中町3丁目 清水東 中町3丁目 増田 道憲	分銅町 須藤 洋
会計 深澤 弘信	△本町4丁目 加納 靖公	◎博労町 博労町 伊藤 肇一	清水東 清水東 朝倉 信雄	△西五町 春日 三郎
監査 飯島 和彦	本町5丁目 本町5丁目 降旗 清保	長沢町 長沢町 岡野 文雄	清水中 清水中 與 繁	◎国府町 山田 孝介
監査 原田 竹雄	伊勢町2丁目 伊勢町2丁目 原田 欽哉	△常盤町 常盤町 百瀬 賢志	清水西 清水西 青山 繁	△小池町 小池町 関口 隆男
監査 山田 輔	伊勢町3丁目 伊勢町3丁目 百瀬 公基	△栄町 栄町 大石 建彦	△東源池 東源池 百瀬 武	巾上町 巾上町 太田 智
名譽総代 金井 利曉	新伊勢町 新伊勢町 臥雲 毅安	梅ヶ枝町 梅ヶ枝町 勝一 (欠員)	南源地 南源地 伊藤 利八	巾上南 巾上南 武居喜美雄
同 竹内 功	中条東1区 中条東1区 大輪貫念夫	荒井今朝治 荒井今朝治 幸町 錦町	◎北源地 北源地 南源地 南源地 伊藤 利八	巾上西 巾上西 千葉 玄
同 水野 秀一	△中条東2区 中条東2区 飯田 親史	△中条東3区 中条東3区 飯田 親史	◎北源地 北源地 南源地 南源地 伊藤 利八	特別班 特別班 鎌田町 鎌田町
	△中条東4区 中条東4区 小瀬 隆晴		天神南小池町 天神南小池町 黒田 正明	△鎌田町 鎌田町 伊藤 安彦

## 松本深志舞台保存会だより「8」

### ■神道まつり舞台展示

10月2日、四柱神社の例祭神道まつりに舞台が会場、秋晴れ空の下17台の舞台が大名町に展示されました。舞台展示の先頭(千歳橋)は、この春竣工したばかりの本町二丁目舞台です。屋根幌も外しすっきりとした姿で出場してくれました(写真①)。

深志神社の例祭「天神まつり」に出場する舞台は16台です。「神道まつり」ではこれに加えて女鳥羽川の北、いわゆる北深志地区の舞台2台が加わり、総計18台の舞台が並びことになっていま



①大名町に並んだ舞台先頭は本町二丁目舞台

いる舞台はこの18台だけです。六九町舞台【写真②】は明治30年の製作ですが、町として舞台の歴史は新しく、「神道まつり」にだけ曳かれます。



②六九町舞台

東町二丁目舞台【写真③】は「昨年改修を終えたばかりです。この舞台は大正7年の製作ですが、その前の舞台は明治45年の大火で焼失したとされ、更にその先代の舞台は明治の初めころ塩尻の上町に売却され、現在でも阿礼神社の例祭で曳き回されています。舞台の歴史は古い町と言えます。

東町は南深志の中町・本町とともに城下町の親町で、江戸時代は北深志の中心になる町でした。城東の東町通りを大橋の袂まで北から三町あり、馬出しを控える町でもありました。舞台も二丁目だけでなく



③東町二丁目舞台

その点、深志神社氏子の南深志では16台の舞台が現在も曳き続けられ、心強い限りです。舞台の維持・運行は大変なことです。けれどもこの伝統を守っていきたくものです。帰り道では祭囃子伝承スクールの子供たち12人も町の子供たちと一緒に舞台上に乗り、お囃子をしながら帰りました【写真④】。

舞台・お囃子行事も今年はこれで納めです。低く射し込む柔らかい日差しを受けて千歳橋を渡つてゆく舞台を見ながら、漸く今年の秋の深まりを感じました。

④帰途に舞台(伊勢町丁目)



## 御本社北野天満宮参拝旅行

昨年発行の社報第8号に掲載したように平成21年は当社天満宮が鎌田の地から祀られて百年という記念の年でした。同年4月25日に百年祭を斎行し、そして本年3月11日、12日には北野天満宮と琵琶湖の旅へ御本社を訪ねてとして、深志神社と鎌田町会合同の研修旅行を約20名の参加者で実施しました。初日には、北野天満宮、白吉大社への正式参拝後、ホテルへ懇親会ではNHK地元放送局の生放送の取材があり、緊張しながらのインタビュー等、よい思い出となりました。二日目は石清水八幡宮、伏見稲荷大社、明治天皇伏見御



植樹される山田氏子総代

## ▼境内鳥居の注連縄掛替

例年、天神祭を前にして千歳頭注連縄奉賛会の方々(林地区、代表小岩井洋氏)により、境内の鳥居・社殿など10ヶ所近くの注連縄が新しく張り替えられます。今年も7月19日に「奉仕」いただきました。同会は千歳頭神社などの注連縄の掛け替えを奉仕されていますが、当社にも10年ほど前より、歳末とあわせ年2回、ご奉仕いただいています。これにより、毎年清々しく天神祭と新年を迎えることができます。厚く御礼申しあげます。



## ▼天神通りの道路整備工事竣工

本年夏から実施されていた天神通り(市道2531号)の道路整備工事が、10月下旬に竣工しました。



通りの入り口本町5丁目交差点から神社西鳥居近くまでの約300mの道路アスファルト舗装と側溝が整備されました。これは市の「思いやりの道づくり事業」の一環として実施されたもので、当初計画の電線類の地中化は実現しませんでした。が、歩車共存道路として安全性の確保が図られています。